

■「東京インターナショナルスクール 夙川キンダーガーデン」ってどんなところ??

≪「探究型カリキュラム」で外国人教師と英語でコミュニケーション!≫

LTE Toddler コースを終えた後は、年少～年長までの3年間を東京インターナショナルスクール夙川キンダーガーデンをご用意しています。日本で有数の国際バカロレア認定校(*)である東京インターナショナルスクールの知見と強みを活かした独自の「探究型カリキュラム」を実施。20年先のグローバル時代を見据えた教育観念の高い保護者の皆さまより大変ご好評を頂いています。学びの吸収力が高い幼児期を当園で過ごしている生徒たちは、外国人教師と英語でコミュニケーションを取れるようになっていきます。

この「探究型カリキュラム」には、教科や決まった答えはなく、算数・理科などの教科もありません。子どもたちは、提示されたあるテーマについて、教師と英語でコミュニケーションをとりながら、自ら考え、自分の答えを探していきます。その過程で、確実な英語力のみならず、自己表現力や自信、思いやりの気持ちなど、グローバル時代に必要とされる様々なスキル（「論理的思考と問題解決能力」や「コミュニケーション&コラボレーション」、「英語運用能力」などの8つのグローバルスキル）を得ていくのです。2020年の大学入試改革を筆頭に、これからは思考力、表現力や発展的な英語力が求められる時代になります。当園では、そのような時代に、また目まぐるしく変化するその先の時代にも対応できる力を育むことを目指しています。

*国際バカロレア：3歳～19歳を対象とした国際的な教育プログラム。所定の成績を収めると、国際的に通用する成績証明書を取得できるため、世界で高い評価を得ている。日本でも2020年までに認定校を200校以上に増やす方針を掲げており、グローバル時代に向けた教育改革の柱の1つになっている。

≪英語を使いこなせるようになる学習時間と内容とは?≫

英語で自分を確実に表現できるようになるまでに必要な英語学習時間は2,000時間ほどといわれています。当園の授業は1日5時間。週5日通園すると約2年で、週3日の通園でも3年でこの2,000時間を達成できます。

また、英語を聞き続けるだけの学習ではなく、能動的かつ双方向のコミュニケーションが必要です。当園では、子どもたちの好奇心を刺激するテーマに沿って、

楽しみながらネイティブ教師と英語でコミュニケーションを行うため、いつのまにか英語で自分を表現できるようになります。

多くの子どもたちが入園して2カ月ほどで教師の言葉を聞いて行動できるようになり、簡単なプレゼンテーションも可能になります。年少の6月以降は、アメリカやカナダなどの幼稚園・小学校でみられる Show&Tell(ミニ・プレゼンテーション)の時間を設けており、人前で話をする練習も行います。子どもたちはおよそ1年で、自分から質問して会話できるようになります。さらに聞いた音をそのまま正しく発音できる喉と舌の筋肉、そして英語特有の音を聞き分ける聴力は、幼児期に形成されると一生失われることはありません。

《日本人としてのアイデンティティも育みます》

当園では、日本の規範や習慣も非常に大切にしており、文部科学省の学習指導要領と厚生労働省の保育指針から、「社会性」「遊び」「生活習慣」「食事のマナー」「環境」など、学ぶべきことを規定しています。また、「七夕」や「お月見」「ひな祭り」など日本の文化を学べるイベントも充実。卒園後に日本の小学校へ通学することも視野に入れた園生活を設計しています。

ファーストスクールとしての幼児教育と、グローバル・スキルを育む英語教育のバランスを保ち、生きる力、学ぶ力、英語で表現できる力を同時に育てることが出来る環境が揃っています。さらに小学生を対象としたアフタースクールも併設されていますので、小学校入学以降も継続した学びの時間をお持ちいただけます。